

健康カードについて

(この機会に改めて健康カードの存在を委員の皆様へ周知いたしたい)

1 目的

次の目的のために平成25年から別添「健康カード(男子用)(女子用)」の使用を開始している。

- (1) 幼児期から一貫した支援を行う
- (2) 医療機関、学校が連携した支援を行う
- (3) 保護者に肥満予防の重要性について意識付けをする

2 使用方法

- ① 幼児期に必要時(主に子どもの生活習慣病予防相談、乳幼児ケア)保護者に説明して渡す

【説明内容】

- ・保護者が管理する。
- ・保護者が就学後、就学先の学校(養護教諭)に提示する
- ・肥満に関する受診の際は医療機関に提示する

- ② 関係機関(学校、医療機関など)は必要事項を記載し保護者に渡す

- ③ 使用のスタートは就学後でも構わない

3 周知について

幅広い啓蒙のため、平塚市ホームページに掲載中である。(アドレスは下記)

http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/kenko/page-c_01976.html

委員の皆様から所属団体に周知いただきたく御協力をお願いします。

以上

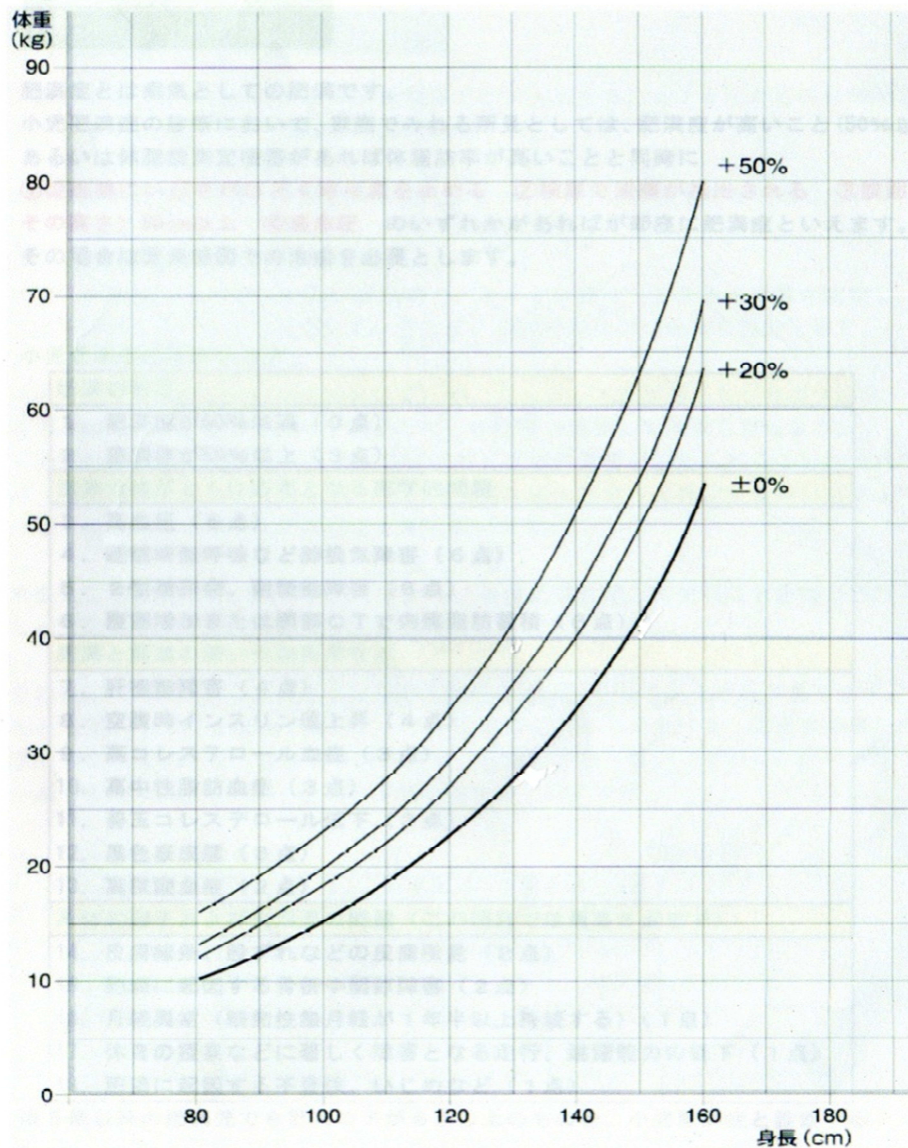
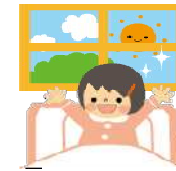


図1-1-B 肥満度の簡易グラフ<女子>
 肥満度の目安を簡易に算出するためには、この表が利用される。

「日本肥満学会 編:小児の肥満症マニュアル.医歯薬出版.2004.P6,7」を医歯薬出版の許諾を得て転載

健康カード



早寝早起き朝ごはん



名前

年 月 から 年 月 までの記録

女子

平塚市子どもの生活習慣病予防対策委員会

受診した結果を記入しましょう

日付	年 月 日	年 月 日	年 月 日
年齢(オケ月)	オ ヶ月	オ ヶ月	オ ヶ月
身長 (cm)			
体重 (kg)			
肥満度 (%)			
腹囲 (cm)			
腹囲/身長比			
血圧 (mmHg)			
血糖 (mg/dl)			
総コレステロール (mg/dl)			
HDLコレステロール (mg/dl)			
中性脂肪 (mg/dl)			
GPT (IU/l)			
尿酸値 (mg/dl)			
その他・コメント			

自分の結果とくらべて
みましょう

総コレステロール: 220mg/dl以上は要注意
GPT(肝機能): 31IU/L以上は要注意
尿酸値: 6mg/dl以上は要注意

メタボリックシンドロームの診断基準(6~15歳)

があり、 ~ のうち 項目を有する場合にメタボリックシンドロームと診断する

腹囲	80cm以上(注1)	…内臓の脂肪蓄積を推定
血清脂質 中性脂肪	120mg/dl以上(注2)	
かつ/または		
HDLコレステロール	40mg/dl未満	
血圧 収縮期血圧	125mmHg以上	
かつ/または		
拡張期血圧	70mmHg以上	
空腹時血糖	100mg/dl以上(注2)	

注1: 腹囲/身長が0.5以上であれば項目 に該当するとする

小学生では腹囲75cm以上で項目 に該当するとする

注2: 採血が食後2時間以降である場合は中性脂肪150mg/dl以上、血糖100mg/dl以上を基準としてスクリーニングを行う(この食後基準値を超えている場合には

学校や医療機関で計測したら記入しましょう

日付	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
年齢(オケ月)	オ ヶ月	オ ヶ月	オ ヶ月	オ ヶ月	オ ヶ月
身長					
体重					
肥満度					
腹囲					
腹囲/身長比					
血圧					
その他					
日付	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
年齢(オケ月)	オ ヶ月	オ ヶ月	オ ヶ月	オ ヶ月	オ ヶ月
身長					
体重					
肥満度					
腹囲					
腹囲/身長比					
血圧					
その他					
日付	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
年齢(オケ月)	オ ヶ月	オ ヶ月	オ ヶ月	オ ヶ月	オ ヶ月
身長					
体重					
肥満度					
腹囲					
腹囲/身長比					
血圧					
その他					

「生活習慣病」と「メタボリックシンドローム」について

からだに良くない生活習慣を続けることが原因でになってしまうのが、生活習慣病です。肥満症、糖尿病、脂質異常症、高血圧症、脂肪肝、大腸がんなどたくさんあります。

メタボリックシンドロームは肥満により引き起こされ、臓器に脂肪がたまることにより、インスリンというホルモンの働きが悪くなる結果、2型糖尿病を発症したり、血管を障害し動脈硬化を進める病態です。肥満のお子さんのうちの10~30%が小児メタボリックシンドロームと報告されています。肥満度30%以上のお子さんは特に注意が必要です。